

Sea Japan 2014 国際海事セミナー

日 程:平成 26 年 4 月 9 日(水) <第 1 部> 10:00~12:20、<第 2 部> 14:00~17:20
 場 所:東京ビッグサイト 会議棟 6 階 605 会議室(約 500 人収容)
 共 催:国土交通省、シージャパン 2014 海事クラスター企画委員会

【第 1 部】OECD 日本国加盟 50 周年記念セミナー

グリーン・フロンティア ~海事産業におけるグリーン成長~ (10:00 - 12:20)

時間	講演
10:00-10:05	開会挨拶 国土交通審議官 榎野 龍二 
10:05-11:10	講演 海事産業におけるグリーンフロンティア 国土交通省海事局長 森重 俊也  海事産業のグリーン成長・イノベーション OECD 事務局科学技術産業局 造船担当課長 サラ・ボックス  海事産業に見るグリーンな未来 ~ノルウェー政府の展望~ ノルウェー貿易・産業・漁業省 副大臣 ディレク・アイハン 
11:10-12:15	プレゼンテーション 海運イノベーション ~推進策と解決策~ DNV GL 海事ビジネス担当 トロン・ホドネ  世界の成長ポテンシャル ~2030 年に向けた海上交通の未来~ ノルウェー船主協会 産業政策広報 部長 ハーラル・ソールバルグ  浮体式海水淡水化プラント ~海事分野の新たなビジネスの可能性~ デロイトトーマツコンサルティング(株) ディレクター 國分 俊史  NYK グリーン・シップ・テクノロジー 日本郵船(株) 常務経営委員 田中 康夫 
12:15-12:20	閉会

【第2部】海洋開発イノベーション ～海洋フロンティアへの挑戦～

(14:00 - 17:20)

時間	講演
14:00-14:05	<p>開会挨拶</p> <p>国土交通省海事局次長 櫻井 俊樹</p> 
14:05-17:15	<p>講演</p> <p>世界の海洋資源開発事業 (独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 理事・石油開発技術本部長 市川 真</p>  <p>ブラジルにおける海洋資源開発の現状と、 今後の日本企業のチャンス ブラジル機械工業会 副会長 セーザー・プラッタ</p>  <p>大水深海域開発におけるオフショア・オイル/ガス生産設備 テクニップ オフショア構造物生産マネージャー ブライアン・ロバート</p> <p>浮体式洋上風力 Hywind ~洋上風力ビジネスを変える潜在技術~ スタットオイル 再生可能エネルギー担当副社長 シーリ・エスペダール・キンデム</p>  <p>オイル/ガス産業イノベーション DNV GL 海事ビジネス担当 トロン・ホドネ</p>  <p>Floating LNG の保険手配 東京海上日動火災保険(株) 船舶営業部次長 兼 営業第三課長 近藤 洋</p>  <p>日本造船業とオフショア分野 IHS マリタイム 首席海事アナリスト リチャード・クレイトン</p> 
17:15-17:20	<p>閉会</p>

(補足)

第一部 「グリーン・フロンティア ~ 海事産業におけるグリーン成長 ~ (OECD 日本国加盟 50 周年記念)」について

我が国は、経済協力開発機構(OECD)造船部会に50年以上にわたって参加しており、本年我が国がOECD加盟50周年を迎えることを記念して、グリーン成長をテーマにしたセッションを設けたものです。

グリーン成長とは、地球規模の環境課題を解決するための製品やサービスの提供による経済成長を意味します。この考えは、2009年のOECD閣僚理事会のグリーン成長宣言(OECD加盟国はグリーンな成長戦略を追求することに合意)に基づくもので、2011年のグリーン成長に関するOECD報告書によれば、グリーン成長は、生産性の向上、イノベーションや新市場の創出等が鍵になるとされています。

本セミナーでは、このようなグリーン成長の基本コンセプトの紹介や、浮体式海水淡水化プラント等の海事分野における新たな可能性について紹介がありました。

第二部 「海洋開発イノベーション ~ 海洋フロンティアへの挑戦 ~」について

海洋開発については、石油・ガスの開発・生産だけでなく、レアメタル等も含む多様な鉱物資源開発、洋上風力発電などの再生可能エネルギーの利用の可能性があります。本セミナーでは、これらについて最新の情報が提供されたほか、Floating LNGの保険に関する様々な課題や、海外メディアによる我が国の海事産業の分析と課題等についても講演が行われました。

(ホームページ : <https://ubm-japan.com/sea-japan/seminar/maritime.php>)